

一般社団法人福島県臨床検査技師会の活動について

一般社団法人福島県臨床検査技師会 会長 山寺 幸雄



平成二十六年より福島県臨床検査技師会（福臨技）の会長を務めさせていただいております。当会は一般社団法人格の学術・職能団体であり、臨床検査に関する学術技能の研鑽および資質向上に努めることにより、県民の皆様へ健康と医療・福祉の充実に寄与することを目的に活動しています。会員は福島県内の病院、診療所、保健所、検査センター、食品検査所、研究所等に勤務する約一、〇〇〇名の臨床検査技師です。また、当会の活動は福臨技独自の事業の他に、約五四、〇〇〇名の会員で構成される一般社団法人日本臨床衛生検査技師会と、その下部団体である

日臨技北日本支部とも連携関係にあり、臨床検査に関する種々の政策や戦略的に行う事業についても、協力体制のもとで進めています。

当会では以下の信条を掲げ活動しています。

- 一、会員は、人々の健康を守るに必要な資料の提供者であることとを誇りとする。
- 二、会員は、誠実と勤勉とを旗印とし、つねに研究を積み、技能・人格の向上に努力する。
- 三、会員は、つねに努力しあい、社会人たるを自覚しつつ、互いに繁栄への道を進む。

私たちが臨床検査技師は検査業務を主体に仕事をしていますが、一口に検査業務といっても多種多様です。検査内容は検体検査と生理検査に大別され、検体検査には血液検査や尿一般検査、生

一層の向上を目指し、専門性、汎用性を考慮した研修会等を積極的に開催しているところです。

私たち臨床検査技師は日々の診療・健診業務を支えるために正確な検査結果を迅速に報告しなければなりません。検査結果は県民がいつ、どこかの医療施設で検査しても同じ基準値で評価されなければなりません。そのため当会は福島県内において基準値統一事業を展開し、施設内外における精度管理調査を行うと共にその検査結果を報告しています。本年も十一月十五日（日）に福島県並びに福島県医師会、福島県病院協会のご後援のもと、平成二十七年（第二十三回）臨床検査精度管理調査結果報告会を開催する予定です。

その他の活動として、公益事業にも多数取り組みをしています。主催として好評を博しているものに小学校への「手洗い出張教室」があります。具体的には検査技師の業務紹介、紙芝居「ばいきんこわいぞ」、手洗い方法の実習、洗い残しポイントの確認、マスクのつけ方、せきエチケット、うがい

の仕方などを授業の中で進めていきます。昨年は四回開催しています。他の公益事業としては、毎年「エイズ撲滅啓発キャンペーン」、「ピンクリボンキャンペーン」、「リレー・フォーライフ・ジャパン福島」や各地区の健康祭り等にも参加して県民への健康増進に関わっています。また、「県民健康管理調査」に関する甲状腺超音波検査要員としての参加についても積極的に会員技師に啓蒙しており、現在は「ローカル認定試験」の合格者も多数でおります。当会としては、今後も検査要員の確保と検査体制への支援をすることで県民の健康を見守ることに寄与したいと考えています。

当会の紹介と主な活動について述べさせていただきましたが、今後も県民の皆様が安心して医療を受けていただくために常に良質の検査データを提供できるように、より一層努力して参りますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。病院協会様におかれましては、今回このような機会を与えていただきまして深く感謝申し上げます。